

国語 第5学年 伝記を読み、自分の生き方について考えよう

検討会の想定問答

指摘 1：伝記を読ませて、何の力を付けるのか。人物の紹介で終わらないか。

返し：中心はC(1)オ（読んだ内容を基に、自分の考えをまとめること）。人物を紹介することではなく、出来事と考え方を結び付けて捉えた人物像を基に、自分の考えをまとめることをねらう。合わせてC(1)イと(3)オを評価する。

指摘 2：評価規準は何か。どこで見るのか。

返し：3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第5時の振り返り、思考・判断・表現①は第2時の年表、②は第3時のワークシートと第4時の文章、態度①は第1時の初発の感想と第5時の振り返り・観察で見る。

指摘 3：言語活動は何か。

返し：C(2)イ「詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動」。教材と、並行して読んだ伝記の人物について、生き方への考えを文章にして読み合う。

指摘 4：個に応じた指導はどうするのか。

返し：読むのが苦手な子には、年表の出来事ごとに描写を先生が書き写した短冊を用意し、並べて結び付けることから始めさせる。書くのが苦手な子には、考えを書く文の型を板書で示す。早く書けた子には、並行して読んでいる伝記の人物と比べさせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 5：ICTは使わないのか。

返し：年表を共有の画面で作り、班ごとに出来事と描写を書き込んで全体で見比べること、第5時に書いた文章を端末で読み合って感想を書き込むこと。並行読書の伝記を選ぶ時に、学校図書館の蔵書を端末で検索させることもできる。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ紙の年表と付箋で同じ活動ができる。

指摘 6：道徳の授業になっていないか。人物の生き方を押し付けていないか。

返し：国語科で扱うのは、描写を基に人物の考え方を捉え、読んだ内容を基に自分の考えをまとめること（C(1)イ・オ）で、人物を手本として見習わせることではない。自分とは違うと考えた所も、描写を根拠にしていれば認める。道徳科との関連は第3の1(10)に「国語科の特質に応じて適切な指導をする」とある。教材の観点は第3の3(2)オ「生活を明るくし、強く正しく生きる意志を育てるのに役立つこと」に当たる。

指摘 7：伝記は事実が書いてあるのだから、書いてあることをそのまま覚えればよいのではないか。

返し：伝記は、書き手が人物の生涯から出来事を選び、その人物をどう見ているかを交えて書いた文章である。事実の文と書き手の見方が表れた文を分けて確かめると、人物像を自分で考える余地が生まれ、C(1)オの「自分の考えをまとめること」が書き写しで終わらなくなる。

指摘 8：5時間で伝記を読み、並行読書の文章まで書けるのか。

返し：5時間は光村図書出版の年間指導計画例の配当（読むこと5時間）に合わせた。並行して読む伝記は、単元に入る前から朝の読書や学校図書館の時間で読み始めさせておく。第3の1(6)は、読むことの指導を学校図書館における指導との関連を考えて行うとしている。時間が足りない時は、第4時の文章を短くし、第5時の読み合いと同じ時間に行う。

指摘 9：発問が多すぎないか。

返し：本時の中心発問は「その考え方は、どの出来事から生まれ、後のどの出来事に表れていますか」の一つ。他は描写を探す問いと、自分の考えを書く時の問いで、全体には中心発問とめあてだけを板書する。(3)オの読書に関する事項は、第3の1(3)にあるとおり、読むことの指導を通して指導する。

指摘 10：板書はどう使うのか。

返し：「人生の年表」を右に残し、中央で描写の短冊を出来事と矢印で結んで、「変わらなかった考え方」を言葉にする。出来事と考え方を結び付けて人物像をまとめる流れを、そのまま板書の右から左への並びにした。グループで出た人物像の言葉は左側に並べて残し、消さない。

指摘 11：振り返りは何を書かせるのか。

返し：「描写を結び付けて考えた人物像」と「伝記を読んで自分の考えが変わったこと・広がったこと」の二つ。二つ目は、第5時に(3)オの「読書が、自分の考えを広げること役立つことに気付くこと」を評価する時の材料にもなる。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第5学年及び第6学年〕2内容C読むこと(1)イ・オ・カと(2)イ、〔知識及び技能〕(3)オ、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

